

**製品名: SHIP (11I8) ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe17862**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC,IP
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:500,ICC/IF 1:100-1:200,FC 1:20-1:50,IP 1:20-1:50
分子量	133kDa

**抗原情報**

遺伝子名	INPP5D
別名	Inositol polyphosphate-5-phosphatase of 145 kDa; inositol polyphosphate-5-phosphatase, 145kDa; INPP5D; p150Ship;
遺伝子 ID	3635.0
SwissProt ID	Q92835
免疫原	ヒト SHIP-1 の合成ペプチド

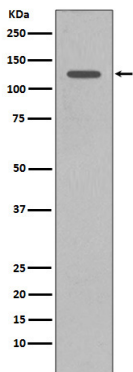
## 背景

SHIPはSH2含有イノシトールホスファターゼです。細胞の生存、増殖、細胞周期停止、アポトーシスを制御する造血特異的ホスファターゼです。Ins(1,3,4,5)P4およびPtdIns(3,4,5)P3を加水分解します。N末端にSH2ドメイン、C末端に2つのNPXY Shc結合モチーフを持つ細胞質タンパク質です。ホスファチジルイノシトール (PtdIns) ホスファターゼは、ホスファチジルイノシトール-3,4,5-トリスリン酸 (PtdIns(3,4,5)P3) の5-リン酸を特異的に加水分解して PtdIns(3,4)P2 を生成し、それによって PI3K (ホスホイノシチド3-キナーゼ) 経路を負に制御します (PubMed:8723348、PubMed:10764818、PubMed:8769125)。ホスファチジルイノシトール-4,5-ビスリン酸 ( PtdIns(4,5)P3 ) およびイノシトール 1,3,4,5-テトラキスリン酸 (PubMed:9108392、PubMed:10764818、PubMed:8769125) の5-リン酸も加水分解できます。B細胞抗原受容体シグナル伝達の負の調節因子として機能します。FC- $\gamma$ -RIIB 受容体 (FCGR2B) からのシグナル伝達を媒介し、活性化免疫/造血細胞受容体システムからのシグナル伝達を終結させる中心的な役割を果たします。骨髄細胞の増殖/生存および走化性、肥満細胞の脱顆粒、免疫細胞の恒常性、血小板のインテグリン  $\alpha$ -IIb/ $\beta$ -3 シグナル伝達、および B細胞の JNK シグナル伝達の負の調節因子として機能します。破骨細胞前駆細胞の増殖、マクロファージのプログラミング、貪食および活性化を制御し、エンドトキシン耐性に必須である。細胞間接合の制御、好中球における CD32a シグナル伝達、および EGF 誘導性ホスホリパーゼ C 活性の調節に関与する (PubMed:16682172) 。走化性に必要な前縁形成と分極を制御することにより、好中球遊走の重要な制御因子である。NK細胞において FCGR3/CD16 を介した細胞傷害活性を調節する。Smad 依存性発現を介してアクチビン/TGF- $\beta$  誘導性アポトーシスを媒介する。

## 研究分野

ホスファチジルイノシトールシグナル伝達系;B細胞抗原;Fcイプシロン RI;Fcガンマ Rを介した貪食作用;インスリン受容体;

## 画像データ



Daudi 細胞溶解物中の SHIP1 発現のウェスタン ブロット分析。